

石垣・門跡スポット

- 13 “車軸築石積み”という岡城の石垣の特徴的な石積みが見られる。また、駐車場になる前の当時の「総役所跡」の高さを残すものでもある。大手門の途中と15でも見られるので、探しながら歩くのも楽しい。
- 14 今の大手門の反対側に、中川氏時代の築城時に建てられた古大手門。こちらは攻めるには不利な、断崖絶壁の厳しい条件のうえ、東向き。なんでも太陽に向かって大砲を発射するとそれるそうで、太陽を背にした守りは、現在でも通用するという。

本丸・二の丸・三の丸を築いたのは、初代藩主秀成。

- 15 岡城の正面玄関。“車軸築石積み”に角の部分は“算木積み”という石工技術の高さと美しさには、ただ驚かされるばかり。異なる役割を持つ櫓では、時刻と非常を知らせる太鼓があった。明け六つに開門、暮れ六つに閉門されていた。
- 16 賄所(当時の台所)を通り抜け、この近戸門から駐車場へ帰ることが出来る。難攻不落を最も肌で感じられるルート。
- 17 志賀氏時代にはこちらが大手門であった。中川氏の居城となってからは、搦手門(からめてもん)と言われる裏門となった。

・・・中川時代の岡城

・・・志賀時代の岡城



岡城物語

- 18 あゝ義経公の碑：源義経を迎えるために、当時この地方を支配する豪族、緒方三郎惟義が設けたのが“岡城の始まり”だとする築城伝説がある。
- 19 武具庫跡：表は御殿風、中は殿様に接見する人々の控え室といった所だが、その奥には武具が保管されていた。そのために壁は三和土(和風コンクリート)で頑丈に作られており、壁の一部がわずかに残されている。
- 20 空井戸：中川家は外様大名であったが、代を振るうに従って養子を迎えることが多く、譜代大名から入ることが多かった。岡城築城のことは、1700年代の城の大火全焼で書類なども無くなってしまい、様々な憶説が言われるようになった。この空井戸は岡藩最後の藩主、久昭公が、井戸に入る人を求め調べさせた。結果は、財宝も抜け穴もなく、観音様が祀られてあったという。

義経を迎えようとした城

天空の城 岡城址ミュージアム



義経を迎えようとした城

秀吉を喜ばせた城

岡藩七万石の城

クリシタンのいた城

滝廉太郎になれる城



海拔325mの台地、岡城址。その広さは東京ドームの約2倍にあたる。大野川の支流、稲葉川と白滝川が出会う場所にあり、川岸からそそり立つその姿は、かつて“難攻不落”と言われた天然の要塞であった。

難攻不落スポット

- 1 登城前にまずは、案内看板で等高線チェック! 切り立つ斜面と川が、岡城の天然のお堀。
- 2 大手門までの登頂で、いきなり難攻不落体験。きついのはココだけです。頑張ってください!!
- 3 初倉跡の眼下の「清水谷」には、足がすくむ・・・。標高差は約70m。
- 4 二の丸から眺める外壕(稲葉川)は、その名も「地獄谷」。標高差90mに絶句。
- 5 江戸時代には、この城は攻められることはなかった。クリシタンのいた城 中川氏の前のお殿様、クリシタン大名でもある志賀親次公(大友支族)が島津軍の攻撃をうけるのだが、墜ちることなく城外に討って出て、秀吉から何度も感状をもらっている。

秀吉を喜ばせた城

移動時間の目安

- 料金所 ⇨ 本丸:約40分
- ⇨ 本丸・西の丸・近戸門:約50分
- ⇨ 本丸・下原門:約時間半

岡城址は本当に美しい。空が近くに感じられ、神聖な空気に心身を洗われるようだ。頑張って登った人だけに与えられる最高のご褒美が、ここにはある。

絶景ビュースポット

- 6 仕切門は、フルムーンのポスターにもなった石垣美景ポイント。朝夕はもちろん、春夏秋冬で刻一刻違う表情を見せてくれる。
- 7 二の丸・三の丸櫓からは、阿蘇・久住山を背景に城下町を一望できる。高いところに立つと、人はなぜか天下を取った気分になれる・・・

- 21 小河一敏の顕彰碑：幕末の頃の岡藩士で、明治維新で活躍され西郷隆盛との交際もあった。明治に入って新政府のもとで堺県の知事を務め、私財を投げ打って治水に貢献し市民から大変尊敬された。
- 22 蕃山の顕彰碑：熊沢蕃山は、三代岡藩主、久清公の尊敬した儒学陽明学派の実践家であった。久清公在位中に、治山治水の教えを乞い、備前から招き、家臣に講義を受けさせたりして、治山治水を盛んにした。現在、水路が網の目のようにあるのは、蕃山に学んだ当時の地域振興に熱き人々の功績である。

- 23 西の丸御殿を築いたのは、三代藩主久清。くじゅう大船山に登山し、長湯・七里田の湯治を楽しんだアルペン大名である。

- 8 本丸御殿からは、城内一望はじめ、祖母・傾山が目の前に広がる。また、春の眼下三の丸に広がる桜の雲海の高さには、ため息がもれる。
- 9 下原門まで続く、本当に美しい並木道。四季折々に美しいが、特に初夏の新緑と秋の紅葉は最高。カップルには絶対オススメ!
- 10 寛左衛門屋敷からの本丸眺望に感動。桜と紅葉の時期は特に絶景。
- 11 雲上に遥か阿蘇山を眺め、その下にすっぽりと見える城下町竹田。夕日が最高。
- 12 ここで近戸門を振り返ってみよう。陰しさに驚きつつ下山で一息。

※山城として豊富な自然に恵まれた岡城は里山でもあります。冊子「岡城跡の植物」もあわせて、美しい岡城の春夏秋冬をお楽しみ下さい。[一部100円:岡城会館・創生館にて]